



令和元年度

やまみなみ校長室だより No. 36

令和2年1月8日

岸和田市立山直南小学校

校長 松村 慎治

3学期始業式に寄せて

いい学校をつくる主役達

学校に子どもたちが戻ってきました。1月8日をどんな気持ちで迎え、登校してきたでしょうか。一人ひとりいろいろな思いを胸に、学校へ登校してきたことでしょう。学校は、どの子どももいきいきと輝ける場所でなければなりません。



そんないい学校をつくる主役達、それは言うまでもなく子ども達です。特に高学年の子ども達が、どんな学校になるかを決めるといっても過言ではありません。どの子どもも明るく楽しく笑顔で学校生活を送れるような学校にしたいものです。そのためにみんな頑張っています。

3学期の学校生活、子ども達にはしっかり可能性を伸ばしてほしいと思います。子どもの可能性は無敵大です。どんどん進化します。子どもは弱いようでいて、やわらかくしなやかです。だから、今しっかりと見守りながら、育ててあげないといけません。ただ、大事にし過ぎてひ弱なものにしてしまっただけはいけません。そして、よい所は認めてほめて、悪い所はきちんと叱らないと、やがて自分だけでしっかりと立ちきれなくなるでしょう。

これまでも、ご家庭でも同じだと思いますが、どうしても真剣に全身全霊で叱らなければならないことがあったかと思っています。それは、人の不幸の上に自分の幸せを築くことです。人がどんなに傷ついても自分が楽しければそれでいい、というようなことは絶対に許されません。一人を数人であつかったり、ばかにしたり、いじわるをすることは卑怯なやり方です。そんなことを、小さなうちから身に付けてはいけません。そんな風に親は育ててきたわけではない。教師が教育してきたわけではない。だから、全身全霊で叱ることになります。人を平気で傷つけている姿を見て、知らん顔をしている人も同じです。これが、いじめにつながるのです。絶対にみんなで許してはいけません。子ども達にはそんな強い心を持ってほしい。いじめを二度と繰り返さない、そんな強い心を持たないといけません。

山直南小学校のみんな、頑張れ！

3学期は学年の締めくくり、まとめの学期です。自分の持っているエネルギーをプラス方向に集中してほしいものです。私は、なりふり構わず頑張る姿が好きです。うまくなくてもいいから、持っているエネルギーを出し切る、そんな「思い切り頑張った！」と心の底から言い切れるような取り組みをしている子ども達の姿を見せてほしいと思います。

何事にも一生懸命取り組んで力を伸ばしていくために、たくさんの人が集まっている学校という所でのルールを守ることが必要です。ルールを守って生活を送れる中で、子ども達が真剣に努力し、お互いに気持ちを理解し協力し合える『いい学校』をつくってほしいです。『いい学校づくり』ぜひ主役の子ども達の手で実現することを願っています。